

	R7目標	進捗状況	達成率 (%)	
<b>1. 地域経済動向調査の実施</b>			100%	
巡回によるヒアリング調査件数(35者×2回)	70	70	100.0%	✓
調査結果の公開回数(ホームページ)	1	1	100.0%	✓
<b>2. 需要動向調査</b>				
顧客調査(1社 店頭にて50人)	1	1	100.0%	✓
業者調査(1社 展示会・商談会にて50人)	1	1	100.0%	✓
<b>3. 経営状況の分析</b>				
経営分析・フィードバック	35	36	102.9%	✓
<b>4. 事業計画策定支援</b>				
①事業計画策定セミナー開催	2	2	100.0%	✓
②事業計画策定事業者数	35	42	120.0%	✓
③創業塾(5回)開催	1	1	100.0%	✓
④事業計画策定事業者数(創業者)	5	42	200.0%	✓
<b>5. 事業計画策定後の実施支援</b>				
①今期(6~10年度)事業計画策定者フォロー	160	118	73.8%	
②前期から支援している事業計画策定者フォロー	90	151	167.8%	✓
③昨年対比経常利益3%以上増加事業者数	5	9	180.0%	✓
<b>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業</b>				
①物産展出展事業者数 BtoB	2	3	150.0%	✓
開催回数	1	1	100.0%	✓
成約件数	2	0	0.0%	
②生産者とのマッチング商談会開催 BtoB	1	1	100.0%	✓
生産者参加数	1	2	200.0%	✓
成約件数	2	0	0.0%	
③丹波篠山物産展出展事業者数 BtoC	5	7	140.0%	✓
売上額 1社あたり15万円	75	15	20.0%	
④販路開拓・販売促進セミナー開催	1	1	100.0%	✓
セミナー参加者数	10	14	140.0%	✓
<b>7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</b>				
①経営支援会議開催数(奇数月月末)	6	6	100.0%	✓
②事業検討委員会開催数(6月・2月)	2	2	100.0%	✓
③正副会長会検討回数	1	1	100.0%	✓
④理事会検討回数	1	1	100.0%	✓
④ホームページへの掲載	1	1	100.0%	✓
<b>8. 経営指導員等の資質向上等に関すること</b>				
①外部講習会等への参加	1	1	100.0%	✓
②DX推進セミナー開催	1	1	100.0%	✓
③OJT制度による支援能力の向上	1	1	100.0%	✓
④経営支援会議での情報共有	1	1	100.0%	✓
⑤データベース化による情報共有	1	1	100.0%	✓

## 9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換

①丹波篠山市地元就職推進委員会との連携	2	2	100.0%	✓
②丹波地区人材確保協議会との連携	2	2	100.0%	✓
③地元企業就職フェア等への支援	2	2	100.0%	✓

100%

達成状況 35項目中 31項目

令和6年度に課題となっていた職員の異動・欠員等によるマンパワー不足に対し、令和7年度は組織体制の再整備とDX推進、OJTによる支援能力の再強化に注力した年であった。

その結果、全35項目中31項目を達成(達成率88.6%)し、支援体制は安定を取り戻した。特に事業計画策定支援においては、一般事業者で目標比120%(42者)、創業支援においては目標を大幅に上回る840%(42者)の達成を見るなど、地域における相談窓口としての機能が十分に発揮された。また、経常利益が3%以上増加した事業者が9者に達し(達成率180%)、策定した計画が実利的な経営改善に結びついている点は大きな成果である。

一方で、新たな需要開拓事業においては課題が浮き彫りとなった。物産展の出展者数やセミナー参加者数といった「行動量」の目標は達成したものの、BtoB商談会における成約件数が0件、BtoC物産展の売上額が目標の20%に留まるなど、実質的な「成果」への転換が図れなかった。

また、今期計画策定者へのフォローアップ(73.8%)が、前期分からの継続支援(167.8%)に比べて低調であったことも、次年度への反省材料である。

今後は、計画の「策定」から「実行・成果創出」への伴走支援をより強化し、事業者が「稼ぐ力」を実感できる質の高い支援体制の構築を目指していく。